

取扱説明書



1080P クレーンホイスト30倍ズームカメラ

装置の設置とセットアップを行う前に、マニュアル全体を読んでください。また、このマニュアルは将来の参考のために大切に保管してください。

目次

1. 注意事項	1
1.1 デバイスの保管	1
1.2 デバイスの使用	1
1.3 メンテナンス	2
2. 製品の特長	2
2.1 外部Wi-Fiおよびネットワークケーブル通信	3
2.2 アルゴリズムのサポート	3
2.3 マニュアルズーム制御/フォーカス/デジタル倍率	3
2.4 ワイヤレスコーディング	3
2.5 暗視機能	3
3. 詳細な技術パラメータ	4
4. コンポーネントおよびアクセサリ	5
5. システム接続図	6
6. システムのインストール	7
7. Webの設定とアップグレード	8
7.1 Webフォーカス・キャリブレーションツール	8
7.2 ステータスクエリ	9
7.3 設定インターフェイス	10
7.4 システム機能	12
7.5 プロトコルの使用	13
7.6 システムのアップグレード	14
8. FAQ	15

1. 注意事項

1.1 デバイスの保管

- 1) 保管時温度: -30～+80℃、使用時温度: -20～+70℃ 装置をぶつけたり、高い所から落としたりしないでください。
- 2) 鋭利なもので装置のハウジングを傷つけないでください。
- 3) 装置の外部ケーブルを傷つけないでください。
- 4) デバイスは、湿った場所、ほこりの多い場所、煙の多い場所には設置できません。
- 5) デバイスをノックしたり、高いところから落としたりしないでください。

1.2 デバイスの使用

- 1) 使用電圧: 10～32 V、7 V以下では使用を中止してください。使用電圧範囲を超えると、装置が破損することがあります。
- 2) デバイスの電源を入れる前に、全てのケーブルが正しく接続されていることを確認してください。
- 3) この装置の主な機能は監視支援であり、運転者の操作を支援することも、100%の認識率を保証することもできない。
- 4) 装置のカメラ側を障害物でふさがないようにしてください。
- 5) 取り付けた装置を再び手動で調整する場合、通常の検出効果を示すために再校正する必要がある。



注意！

- 1) 動作電圧が高すぎるとデバイスが破損します。
- 2) デバイスがディスプレイに接続されている場合、運転者は運転中にデバイスに過度に依存すべきではない。
- 3) 専門家の援助なしに装置を分解することは禁止されています。装置に異常が見つかった場合は、カスタマーサービスに連絡してください。



特記事項

お客様ご自身で軽々しく修理されるのではなく、万一不具合が生じた場合には、直ちに電源を切って当社または当社正規販売店にご連絡ください。
取り外しや改造をされますと、故障の原因となり、保証対象外となります。

1.3 メンテナンス

- 1) デバイスをクリーニングする前に、デバイスからすべてのケーブルコネクタを取り外します。
- 2) 刺激の少ない家庭用洗剤を使用し、少し湿らせた柔らかい布で装置を掃除します。
- 3) シンナーやベンジル類などの強力な溶剤は、デバイスの表面を損傷する可能性があるため、絶対に使用しないでください。

	ご注意	
	感電の危険があります。 開けないでください。	
注意:感電を防止するために、カバー(または背面)を取り外さないで ください。内部にユーザーが修理できる部品はありません。サービ スは、資格のあるサービス担当者に転送してください。		



この記号は、製品ハウジング内に絶縁されていない「危険電圧」が存在することを使用者に警告することを意図しており、それは人に感電死の危険をもたらすのに十分である可能性がある。



この記号は、装置に付属のマニュアルに重要な操作および保守(修理)に関する指示が記載されていることをユーザーに警告するためのものです。



このシンボルは、電気および電子デバイスを無駄にしないようにユーザーに注意を促すことを目的としています。

注意

このマニュアルで明示的に承認されていない変更または修正は、保証を無効にし、高額な修理を必要とする可能性があることに注意してください。

2. 製品の特長



ワイヤレスズームカメラ

2.1 外部Wi-Fiおよびネットワークケーブル通信

- 1) 携帯電話は、外部Wi-Fiモジュールを介してデバイスに接続し、デバイスを較正および設定することができます。
- 2) 外部USB-ネットワークケーブルと互換性があり、ネットワークケーブルを使用してRTSPストリームを表示します。

2.2 アルゴリズムのサポート

- 1) 歩行者検出アルゴリズム。このアルゴリズムでは、ユーザーが関連するデータセットとターゲットの高さ角度情報を提供する必要があります。そうしないと、誤検出率が高くなり、この機能はデフォルトで閉じられます。
- 2) 自動ターゲットトラッキングでは、ユーザーが関連するデータセットとトラッキングターゲットの情報を提供する必要があります。この機能はデフォルトでオフになっています。

2.3 マニュアルズーム制御/フォーカス/デジタル倍率

- 1) モニタ上の対応する機能ボタンを使用して、画像の拡大と縮小、焦点およびデジタル拡大サイズを制御します。
- 2) 足踏みスイッチで画像の拡大・縮小を制御します。
- 3) 画像のズームインとズームアウト、フォーカス、デジタルズームサイズをWebエンドで制御します。

2.4 ワイヤレスコーディング

- 1) 初めてカメラを起動したとき、またはカメラの電源を一定時間入れたときに、画面上のマッピングコードを使用して検索デバイスと自動接続を設定します。
- 2) 表示側で関連情報をクリアして再度コードアライメント操作を行わなければ、今後再度コードアライメントを行う必要はない。

2.5 暗視機能

- 1) 夜間に暗くなると、カメラは自動的に暗視モードに切り替わり、赤外線暗視ライトをオンにしてライトを満たします。
- 2) なお、暗視の場合には装置の消費電力がさらに増加するので、バッテリー電源を使用する際には消費電力に注意する必要があります。

3. 詳細な技術パラメータ

イメージセンサー	1/2.9
無線伝送	2.4Gデジタル無線送信機内蔵
送信電力	CE: ≤ 20dBm MIC: ≤10dBm
発射距離	CE: 150m MIC: 60m
動作周波数	2408 ~ 2478MHz
解像度(Resolution)	1080P
有効画素数	1920(H) X 1080(V)
光学ズーム	30x
フォーカス距離	4.85 ~ 138.66mm
絞り値	1.65(W) ~ 4.70(T)
水平表示	57.69° (W) ~ 2.2° (T)
可視距離	5 ~ 200M
フォーカスモード	オートフォーカス
昼・夜モード	IR-CUT自動切替
赤外線距離	50M
防水性能	IP69K
動作電圧	DC10 ~ 32V
動作温度	-20℃ ~ +70℃
耐振動性能	5.9G(GB-T2423056-2006準拠)
全体寸法	220(W) x 110(H) x 106(D) mm

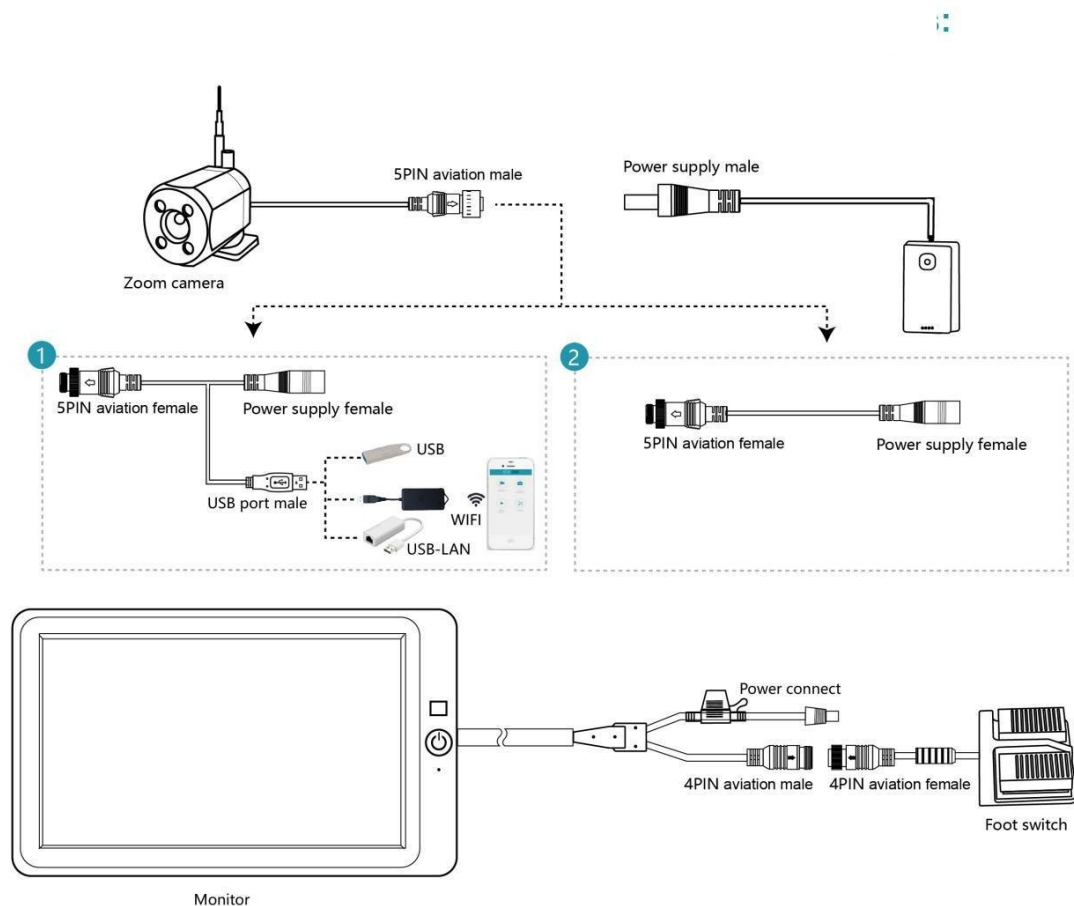
4. コンポーネントおよびアクセサリ

コンポーネントまたはアクセサリ	数量(PCS)	説明
	1台	ズームカメラ
	1本	外部電源ケーブルのDCコネクタを接続します
	1本	キャリブレーションケーブル
	1本	アンテナ
	1セット	ネジ・ナット 六角レンチ
	1本	電源用裸電線
	1台 (オプション)	フットスイッチ

5. システム接続図

ズームカメラのワイヤレス監視システムの接続を図に示すが、実際の使用に応じて2通りの接続方法がある。

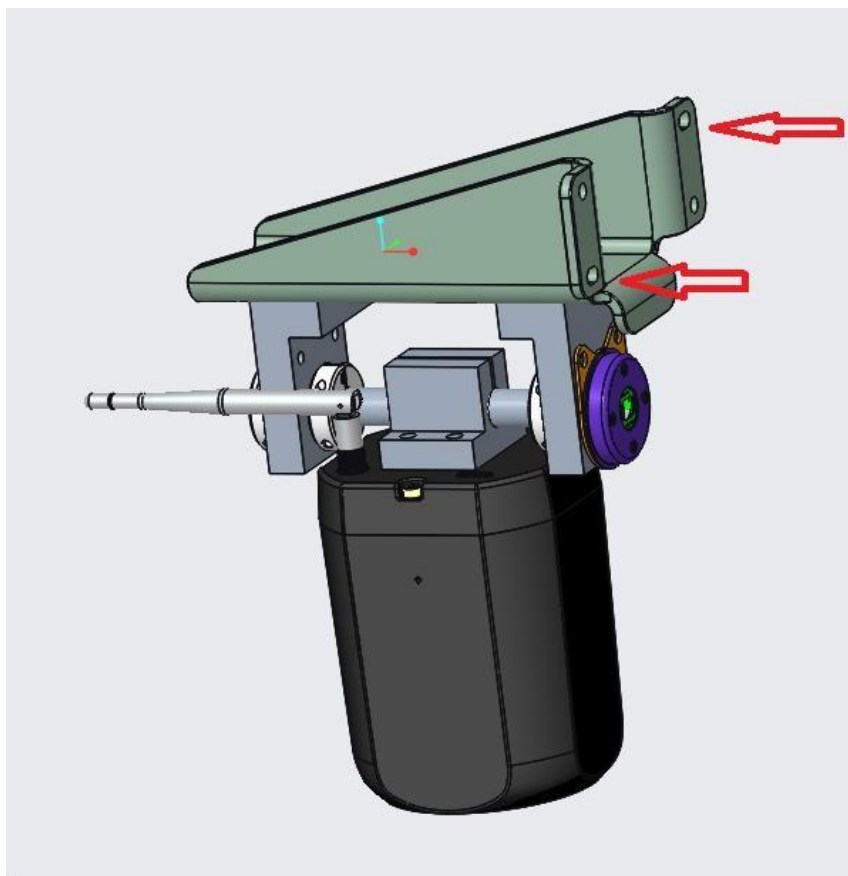
以下2種類の接続方法があります。(①キャリブレーション用、②USBなし)



全体的な接続は、カメラが航空4Pinを介して接続されていることです。いくつかの機能パラメータを設定する必要がある場合は、タイプ1を介してケーブルを接続できます。実際の使用では、タイプ2の配線を直接使用するか、電源を必要な設置車両の電源に直接接続するか、磁気バッテリーを使用して電力を供給できます。

ディスプレイは運転室に設置され、電源は運転室から供給され、フットスイッチは4ピン航空ヘッドを介してディスプレイ端に接続されている。

6. システムのインストール

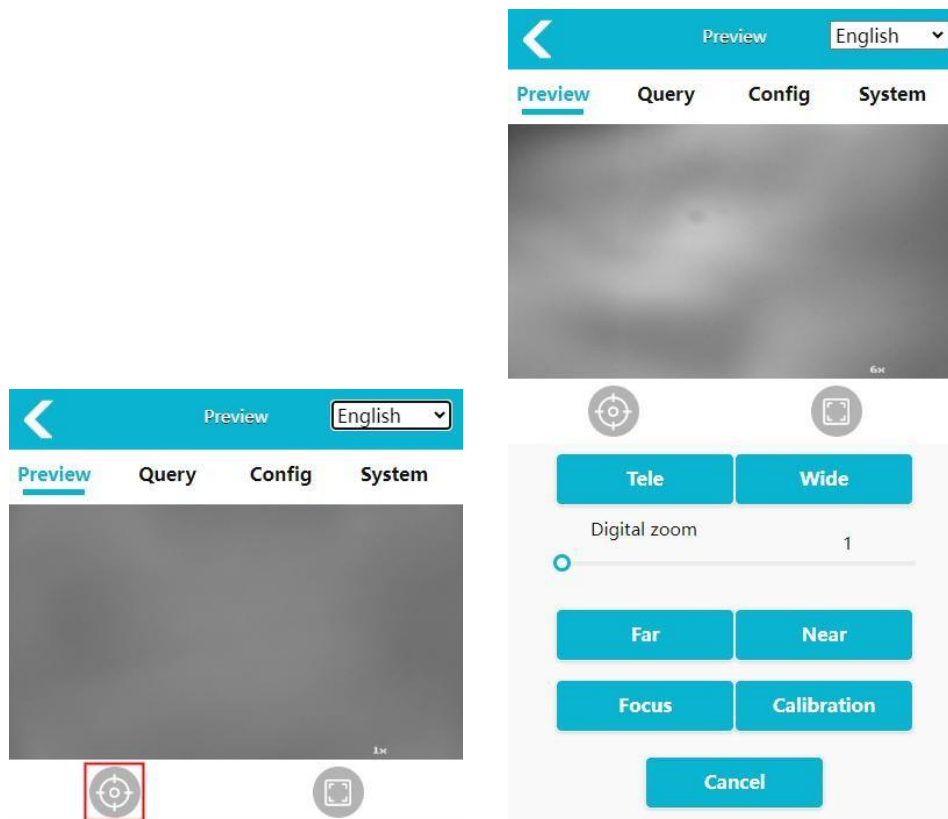


取り付け穴は、上の図の赤い矢印で示されています。具体的な取り付け手順は次のとおりです。

- 1) 取り付ける車両または装置の適切な位置を見つけ、緑色の接続プレート、溶接またはネジを固定して車両を固定します。
- 2) カメラのロングシャフトをベアリングの位置に挿入し、ベアリングのネジ穴を締めます。

7. Webの設定とアップグレード

7.1 Webフォーカス・キャリブレーションツール



Webページを入力した後、ワイヤレスWiFi(デフォルトのIPアドレス192.168.60.1)または有線ネットワーク(デフォルトのIPアドレス192.168.66.89)に接続し、ログインするためのパスワードを入力します。デフォルトはパスワードなしです。画像プレビューインターフェイスに入ることができます。

 ボタンをクリックし、ズーム関連のコントロールインターフェイスをポップアップ表示します。

- 1) Tele：ズーム倍率を手動で拡大します。
- 2) Wide：ズーム倍率を手動で縮小します。
- 3) Calibration：デフォルトの工場では、関連するパラメータがキャリブレーションされています。ユーザーは変更する必要はありません。ユーザーがキャリブレーションの効果が満たされていないと感じた場合は、自分でキャリブレーションを行うことができます。キャリブレーションプロセスには、関連する進捗プロンプトとキャリブレーション結果プロンプトが表示されます。キャリブレーションステップは次のとおりです。

<1>定義カードをカメラの50m外側に配置する(定義カードが十分でない場合は、コントラストがはっきりしているマーカーを選択するようにする)。

<2>カメラ画像の中心を定義カード(マーカー)に合わせて事前に調整し、Web側を最大倍数に拡大し、カードの中心に合わせて微調整します。

<3>カメラを固定/配置し、本体を安定させます。

<4>Web側のキャリブレーションボタンをクリックして、キャリブレーションを開始します。

<5>校正プロセスは、スクリーン干渉を有するべきではなく、さもなければ再校正されるべきである。

<6>校正が終了すると、校正結果が表示されます。

<7>校正結果を確認するために拡大する。

4) Focus：画像がぼやけている場合は、フォーカスボタンをクリックして、手動でフォーカスを1回開いてみてください。

5) Far：遠方の焦点距離に手動で焦点を合わせると、元はぼやけていたものの遠くの画像を見ることができます。

6) Near：手動でフォーカスを閉じると、元はぼやけていたものが画像内に表示されます。

7) Digital zoom：デジタル倍率を手動でドラッグアンドドロップして、最大5倍の倍率で画像を表示できます。

7.2 ステータスクエリ

Query	
Status	Log
Ethernet	
IP	192.168.66.89
Subnet Mask	255.255.255.0
MAC Address	aa:ad:25:98:62:5e
WiFi	
Module	unknown
Dual Band	false
Country Code	
Tx Power(dBm)	0
Current Channel	0
Media	
Night Mode	On
Main Bitrate(kbps)	4848
Sub Bitrate(kbps)	1136
Sensor Type	GC2053
Filter Type	
RTSP Client	

[クエリ]ボタンをクリックすると、ステータスクエリページに入ります。このページでは、デバイスのワイヤレスおよびメディアのステータス情報を表示できます。

7.3 設定インターフェイス

「Config」ボタンを押すと、関連するパラメータの設定画面に入ります。

The image displays two side-by-side screenshots of a web-based configuration interface for a device. Both screens have a top bar with a back arrow, the word 'Config', and a refresh icon. Below the bar are four tabs: 'Media', 'Alg', 'Network', and 'System'.

The left screenshot shows the 'Media' tab selected. It contains two sections: 'Video' and 'OSD Display'. Under 'Video', there is an 'Image Process' section with checkboxes for 'Image Mirror' and 'Image Flip', and an 'IRCUT' dropdown menu set to 'Auto'. Below this is an 'AHD Stream' section with a blue header, containing 'Resolution' (1080P) and 'Framerate(fps)' (30fps) dropdown menus. Under 'OSD Display', there is a 'Switch' section with checkboxes for 'AHD Stream' (checked) and 'MainStream'.

The right screenshot shows the 'Network' tab selected. It contains an 'Ethernet' section with a checkbox for 'DHCP' (unchecked). Below this are input fields for 'DHCP Timeout (s)' (16), 'IP' (192.168.66.89), 'Subnet Mask' (255.255.255.0), 'Gateway' (192.168.66.1), and 'MAC Address' (aa:ad:25:98:62:5e). At the bottom of each screen are 'Confirm' and 'Cancel' buttons.

- メディア構成

イメージミラー	イメージミラーリングをオンにするかどうかをコントロールします。
イメージ反転	スイッチは、イメージの反転をオンにするかどうかをコントロールします。
AHDストリーム	モニタの解像度と出力フレームレートを設定します。
画面	関連するスタック情報の表示を有効にするかどうかを選択します。

- ネットワーク構成

Webアドレス、IPアドレス、関連ゲートウェイなどの情報を設定します。

Config

Media Alg Network System

CH1 CH2

PD Configure

PD Model Person

PD Sensitivity Medium

ALG Switch

Person Rect

Confirm Cancel

- アルゴリズムの設定

歩行者検出アルゴリズムは、検出の感度、アルゴリズムのスイッチ、およびアルゴリズムの結果として歩行者フレームがインターフェイス上に描画されるかどうかで構成することができる。

追跡アルゴリズムは、追跡目標閾値および感度パラメータを設定することができる。

7.4 システム機能

[システム]ボタンをクリックしてシステムページに入ると、現在のデバイスのシリアル番号、ソフトウェアバージョン、ハードウェアバージョン、およびUUIDを表示できます。

The screenshot displays the 'System Maintenance' interface. On the left, there's a section for system information with fields for Serial Number (0), Software Version (20231120.4145), Hardware Version (HDW845V1), and UUID (2dd0b911-c4c1-4bf6-9bc0-fbad2598625). Below this is an 'Upgrade' section with a 'Drag & Drop Packet Here' area and a 'Click to open the file Browser' button. Further down are 'Import Config' and 'Export Config' buttons. On the right, there's an 'Export Log' button, a 'Run Factory Test' section with a 'Run Factory' button, a 'Restore Factory' section with a 'Select restore type' dropdown (set to 'hard-restore') and an 'Action Restore' button, a 'Reboot' section with an 'Action Reboot' button, a 'Change Password' button, a 'Device Time' section with a 'Device Time' field (2020-01-01 09:04:31) and a 'Calibration system' button.

設定のインポート	構成ファイルをインポートできます。
設定のエクスポート	デバイスの構成ファイルをエクスポートできます。
ログのエクスポート	デバイスのログファイルをエクスポートできます。
アクション復元	デバイスを出荷時のデフォルトに戻すには、すべてのパラメータをデフォルトに戻します。
アクション再起動	デバイスの再起動を実行します。
パスワードの変更	デバイスのログインパスワードを変更します。
デバイスの時刻	デバイスの時刻を手動で同期します。

7.5 プロトコルの使用

現在、デバイスはRTSPとONVIFの2つのプロトコルをサポートしており、これらはUSBポートケーブルと一緒に使用する必要があります。

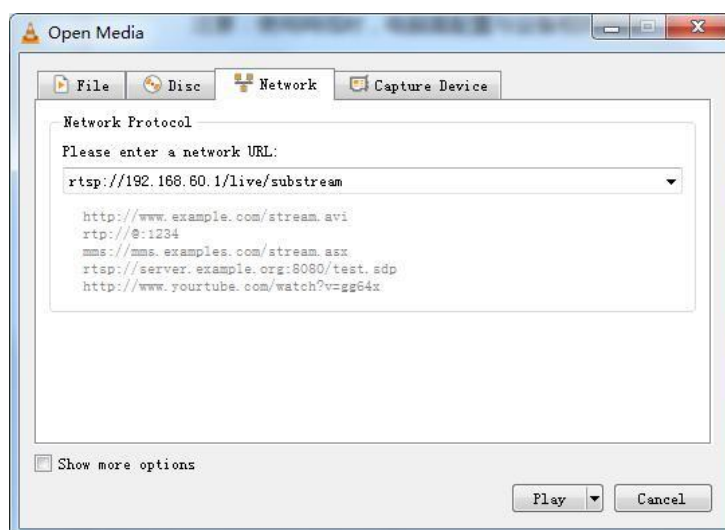
注: ネットワークケーブルを使用する場合は、コンピュータをデバイスと同じネットワークセグメントで構成する必要があります。

1) RTSP

ビデオソフトウェアを使用してRTSPストリームを開きます。VLCの場合は、インターネット回線であっても、VLCを開き、クリック->ネットワークストリーミングメディアを開く-

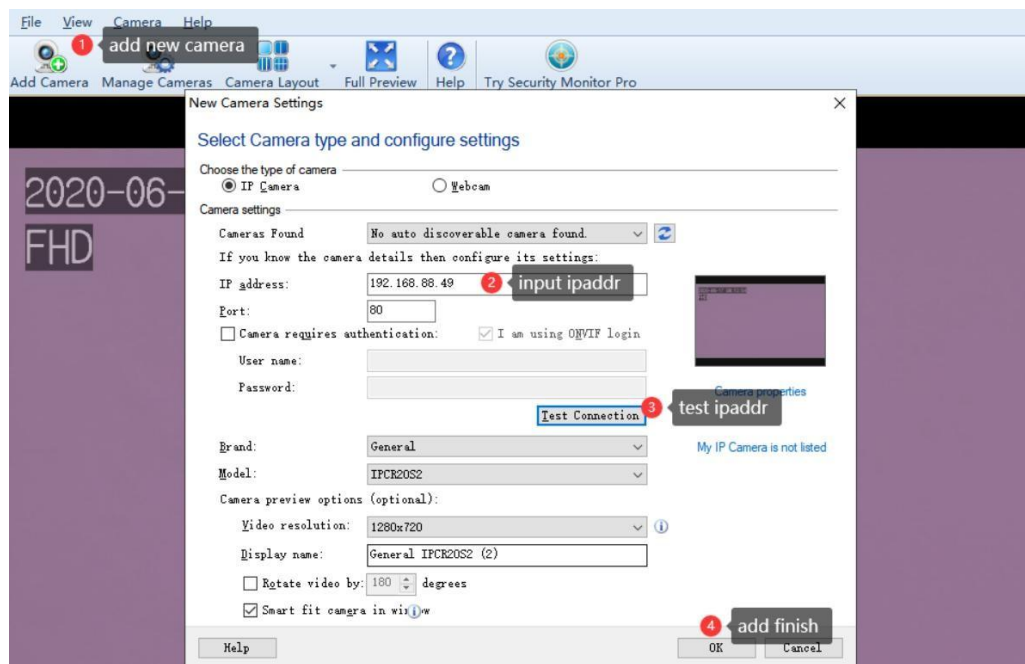
>rtsp://IP/live/mainstreamを開きます。(デバイスがWi-Fiの場合は、

rtsp://192.168.60.1/live/mainstream)->[再生]をクリックします。(メインストリーム:メインストリーム、サブストリーム:サブストリーム)



2) ONVIF

I IP Camera ViewerまたはONVIFプロトコルをサポートするその他のソフトウェアの場合、以下の例ではIP Camera Viewerを使用します。



ネットワークが接続されていることを確認し、[add new camera]->[input ipaddr]->[test ipaddr]->[ok]をクリックします。注:ポート番号のデフォルトは80です。

7.6 システムのアップグレード

デバイスは、USBフラッシュドライブを使用してアップグレードできます。具体的な方法:

1. USBフラッシュドライブをFat32ファイルシステムにフォーマットします。
2. 「HDW845VI_upgrade_XXXXXXXX.XXXX.bin」というファイル名のアップグレード・パッケージをUSBフラッシュドライブに配置し、USBフラッシュドライブをデバイスに接続してデバイスを再起動し、アップグレードが完了するまで数分待ちます。アップグレード後にアップグレード・パッケージを自動的に削除せずにバッチ・アップグレードを実装する場合は、アップグレード・パッケージの名前をHDW845VI_upgrade_fixed_XXXXXXXX.XXXX.binに変更します。
3. アップグレードが完了すると、デバイスのソフトウェアバージョンも変更されます。デバイスの電源を入れたときにモニタの左下隅にあるバージョン番号を確認するか、Webページの「システム」->「ソフトウェアバージョン」でバージョン情報を確認してください。

8. FAQ

以下の問題は、機器の故障によるものではない場合もありますので、同様の状況が発生した場合は、以下の指示に従って確認し、解決できないことが確認された場合は、カスタマーサービスに修理を依頼してください。

問題	考えられる原因/解決策
画面に画像が表示されず、音もしない	デバイスの接続方法に問題があります。デバイスの電源が故障しています。デバイスの電源インジケータが正常かどうかを確認してください。電話機で音量が0に設定されています。
設定Webページにログインできません	外部Wi-FiモジュールがUSBポートに接続されていることを確認します。現在インターネットで利用できないWi-Fiの選択を求めるメッセージが表示されたら、[接続]を選択することを確認します。デバイスのWi-Fiに正常に接続したことを確認します。
アップグレードに失敗しました	延長コードの接続を取り外して再度アップグレードするか、USBスティックを交換します。
カメラを接続できません	デバイスを再マッチングするか、デバイスの電源を再投入します。